

福井県年縞博物館年報

第6号

令和6年4月1日—令和7年3月31日

Annual Report of the Fukui Prefectural Varve Museum

No. 6

2024. 4. 1-2025. 3. 31

もくじ

序言	4
I 年縞博物館の概要	6
1 年縞について	6
2 開館までの歩み	7
3 施設の概要	9
4 常設展示	14
5 IntCal20 と水月湖年縞	16
II 事業の概要	18
1 行事等経過	18
2 特別展示	19
3 教育普及活動	20
4 資料収集活動	21
5 来館促進活動	22
6 地域（近隣施設）との連携	25
7 地域の魅力向上	26
8 立命館大学との連携	26
9 滋賀県立琵琶湖博物館との連携	27
10 受入環境の充実	27
11 広報・刊行物等	28
12 営業活動	32
III 運用状況	34
1 入館者数	34
2 年縞資料等貸出状況	35
3 展示運営、建築に関する受賞	36
IV 資料	40
1 組織等	40
2 関係条例・規則	41

【表紙写真】約 78 万年前の地磁気極逆転を記録した堆積物（特別展「ナウマンゾウやネアンデルタール人が見た夜空」展示資料）；所蔵：兵頭政幸名誉教授（神戸大学）

序言

2024年9月15日、年縞博物館は開館5周年を迎えました。

5年前の開館時、「年縞だけをテーマにした博物館を人口が少ない若狭町に作っても来る人などいないぞ」と言う年縞研究者すらいました。しかも、多くの方々に見ていただくための最大の条件である「立地」は、信じられないほど不利です。JR利用の場合は敦賀駅から小浜線で30分の三方駅下車ですが、午前9時から正午までに博物館に到着できる電車の運行数はたったの2本。しかも三方駅から年縞博物館までは徒歩で約30分かかります（そのため大半の来館者はクルマ利用ですが）。

見るだけでは難解な「年縞」という展示品に加えて厳しい立地という二重苦。ところが年縞博物館は開館直後から来館者による評価がきわめて高く、全国の博物館中、トップ5グループを維持しています。

私たちは、そういう評価に応えるべく、「第2回日本博物館協会賞」（2021年）や「科学ジャーナリスト賞 2023 特別賞」など数多くの栄誉をいただいた「先進科学を真摯に伝える」という年縞博物館の姿勢を堅持し、2024年度も変わることなく取り組んできました。

若狭町は人口が約1万4000人（2019年）という過疎地域ですが、年縞博物館、そして若狭町に通い続けて実感したのは、年縞博物館の「立地」条件の不利は、裏返せば、これほど魅力的な土地に立地する博物館はない、ということでした。

2024年7月、世界的な光アーティスト、石井幹子さんが年縞博物館に来館されました。パリ全市を光のアーチで包み、東京タワーやレインボーブリッジなどの光の装飾を手がけてきた石井さんにとって、「光」の対極である「暗み」の世界は何よりも尊いのですが、日本では地方でも夜が明るいのが悩みだそうです。その石井さんが、夜、年縞博物館が面する三方湖を見て絶句されました。「対岸まで人工光がない！日本でこんな美しい『暗み』は経験したことがない」と。

私たちは、夜の「暗み」が貴重な自然資源であるとは思っていませんでした。年縞博物館は午後 5 時閉館なので、来館者の皆さんにその「暗み」を体験していただくことはできません。しかし、年縞博物館の来館に合わせて若狭町に一泊していただければ、都会では絶対に味わえない「暗み」の世界に、水月湖年縞の 7 万年という時空に思いをはせていただけるのではと思いました。

「若狭町の年縞博物館」のはかりしれない潜在力——。2024 年は、こんな貴重な発見もあった年でした。

山根一眞

福井県年縞博物館 特別館長

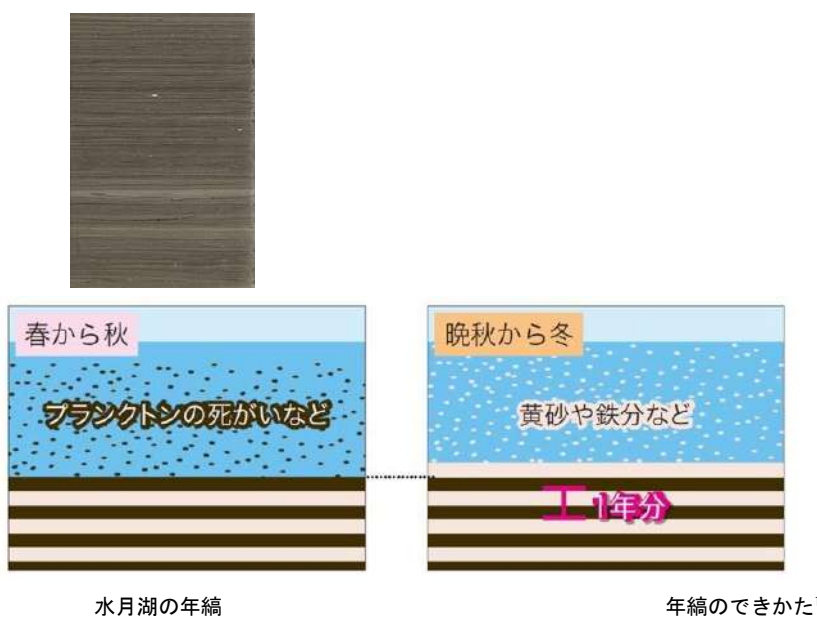
I 年縞博物館の概要

1 年縞について

(1) 水月湖年縞

水月湖は、三方五湖のひとつに数えられ、福井県若狭町と美浜町にまたがる面積 4.15km²、水深 34m の湖である。

年縞とは、「長い年月の間に湖沼などに堆積した層が描く特徴的な縞模様の湖底堆積物」のことで、1年に明暗1対の層が形成される。縞模様は季節によって異なるものが堆積することで、明るい層と暗い層が交互に堆積する。春から秋にかけては土やプランクトンの死骸などの有機物が、晩秋から冬にかけては湖水から析出した鉄分や黄砂などの鉱物質が堆積する。有機物を多く含む層は暗い色になり、鉱物質を多く含む層は明るい色になる。この明暗1対が1年分の層として堆積するのである。



「1年」という解像度で地球の歴史を記憶し続けてきた堆積物というのは、一種の奇跡である。世界中を見渡しても、年縞を形成する条件のそろった湖は珍しい。さらにその条件が長期間にわたり維持されることはほとんどない。水月湖では、1) 水月湖に流れこむ大きな河川がないこと、2) 山々に囲まれた地形、3) 生物のいない無酸素の湖底、4) 断層の影響による湖底の沈降（湖が埋まらない）、という地形や周辺

¹ 福井県年縞博物館公式ホームページ (<http://varve-museum.pref.fukui.lg.jp/>) より。作図：FBC アドサービス

環境などの好条件が過去 7 万年間にわたり維持されてきたのである。その結果、繊細な年縞が壊れることなく堆積し続けたのである。こうした特殊性から、水月湖は「奇跡の湖」と評される。

(2) 学術的意義

ア 年代のものさし

年縞は 1 年に 1 層の積み重なりであるため、1 年単位で年代を知ることができる。

未知の出土品がいつの時代のものかを知る手段の一つが「放射性炭素年代測定法」である。これは生物の体に含まれている放射性炭素の存在比率が、生物の死後、時間の経過とともに一定の割合で減少していくことを利用して生物の死後の経過時間を計算し、年代決定を行う手法である。しかし、この放射性炭素年代測定法では時代によって数百年から数千年の実年代とのズレがあるのが問題だった。生物の体に含まれる放射性炭素は、もともとは大気中の放射性炭素を取り込んだものだが、時代とともに大気中に含まれる放射性炭素（炭素 14）の存在比率が変動するため、時代によって生物に含まれる放射性炭素の存在比率が異なるからである。このズレを修正するためには、「年代ごとの正確な放射性炭素の量」がきっちりと整った「ものさし」が必要である。この「ものさし」となる重要な試料として 7 万年連続した縞を形成する水月湖年縞が利用された。

年縞は 1 年に 1 層形成されるため、縞を数えることによって年代を正確に知ることができる。さらに、その年縞に含まれる葉の放射性炭素の存在比率を測定することで、正確な年代と放射性炭素の割合の関係が明らかになる。水月湖の年縞は考古学や地質学における「世界標準ものさし」として、年代決定の精度を従来よりも飛躍的に高めることに貢献している。

イ 古気候復元のカギ

年縞に含まれている葉や花粉、火山灰、黄砂などを分析することによって、過去の気温や水温等、気候の変化を年単位で復元することが可能である。

花粉からは、湖の周辺に生育していた植物の種類がわかる。生育する植物の種類は、気候に左右されるため、年縞に含まれる花粉の種類の移り変わりを調べることによって、過去 7 万年間の気候の変化を明らかにすることができるのである。火山灰は、火山または噴火ごとに重鉱物組成、火山ガラスの形態・色、屈折率値などが異なる。そのため、この特徴を調べることによってその火山灰を供給した火山を特定することができる(町田・新井 2003)²。黄砂からは、偏西風の風向きや乾湿の変化などを知ることが可能である。

2 開館までの歩み

平成 3 年(1991 年)に水月湖で年縞が発見されてから、県をはじめ国際日本文化研究センター、英国ニューカッスル大学、東京大学などが学術ボーリング調査を実施した。これらの調査で採取した土から、水

² 町田洋・新井房夫(2003)『新編火山灰アトラス日本列島とその周辺』東京大学出版会。

月湖年縞は1年分の厚さが平均 0.7mm で、7 万年もの長い期間にわたり大きくかき乱されることもなく 45m も積み重なり、今日まで長期間かつ安定して保存されてきたことが分かった。

平成 24 年（2012 年）7 月、「第 21 回国際放射性炭素会議」がフランス・パリで開催された。この会議において、放射性炭素年代の較正のためのデータセット「IntCal」（イントカル）の最新版「IntCal13」に水月湖年縞のデータが採用された。これによって水月湖年縞は、年代の「世界標準ものさし」の地位を得た。IntCal13 は、翌年 9 月から運用が開始され、世界中の研究者に利用されるようになった。

県は、水月湖年縞とその研究成果が世界的に高く評価されたことを受けて、この年縞を先進的研究や教育・観光に活用するため、45m の実物の水月湖年縞を展示するほか、展示コーナーを通じて体験しながら年縞の詳細を学ぶことができる年縞博物館を建設に着手した。平成 26 年（2014 年）には県が「年縞」利活用基本構想を、その翌年には、水月湖「年縞」研究展示基本計画を策定し、博物館の建設が始まった。

整備スケジュールは、平成 26 年度から 27 年度までの研究展示基本計画の策定、平成 27 年度から 28 年度までの基本設計および平成 28 年度の実施設計を経て、同年度に着工、平成 30 年 8 月に完成し、同年 9 月 15 日、福井県年縞博物館が開館した。

（開館までの経過）

- | | |
|---------------|---|
| 平成 3 年（1991） | 安田喜憲名誉教授（当時 国際日本文化研究センター）らの研究グループによる水月湖の試掘により、アジア初となる湖底の年縞を確認 |
| 平成 5 年（1993） | 基盤に達するボーリング調査で約 70m の堆積物採取に成功（第一次調査） |
| 平成 18 年（2006） | 中川毅教授（当時 英ニューカッスル大学）らの研究グループによるボーリング調査を実施（第二次調査） |
| 平成 24 年（2012） | 第 21 回国際放射性炭素会議（パリ）において、水月湖年縞のデータを平成 25 年（2013 年）以降の地質学的年代の世界標準とすることに合意（研究成果が米科学雑誌「サイエンス」に掲載） |
| ” | 多田隆治教授（当時 東京大学）らの研究グループによるボーリング調査を実施（第三次調査） |
| 平成 25 年 9 月 | 水月湖年縞データを用いた較正曲線「IntCal13」を発表 |
| 平成 26 年 3 月 | 水月湖「年縞」利活用基本構想を策定 |
| 平成 26 年 7 月 | 福井県が将来の展示にも活用できる年縞を採取することを目的に、中川毅教授（立命館大学）らの研究グループによるボーリング調査を実施（第四次調査） |
| ” | 水月湖「年縞」研究展示基本計画策定委員会を設置（委員長：中川毅教授（立命館大学古気候学研究センター長）） |
| 平成 27 年 7 月 | 水月湖「年縞」研究展示基本計画を策定 |
| 平成 27 年 10 月 | 「福井県と立命館大学との年縞を基にした研究等に関する基本協定」を締結 |
| 平成 27 年 | 水月湖「年縞」研究展示施設基本設計に着手 |
| 平成 28 年 | 水月湖「年縞」研究展示施設実施設計に着手 |
| 平成 29 年 3 月 | 水月湖「年縞」研究展示施設の工事に着工 |
| 平成 29 年 4 月 | 安全環境部自然環境課に年縞研究活用グループを設置 |

平成 30 年 3 月	水月湖「年縞」研究展示施設の正式名称が「福井県年縞博物館」に決定
平成 30 年 7 月	福井県年縞博物館カフェ出店者選定委員会がカフェ出店者を決定（一般社団法人 Switch Switch）
平成 30 年 8 月	福井県年縞博物館の竣工
平成 30 年 9 月	「福井県年縞博物館の設置および管理に関する条例」の施行
”	「福井県年縞博物館の管理運営に関する規則」の施行
”	福井県年縞博物館の開館

3 施設の概要

(1) 基本理念等

平成 27 年（2015 年）7 月策定の水月湖「年縞」研究展示基本計画に基づき、年縞について学び、豊かな自然や優れた里山里海湖への関心や理解へと結びつけ、自然環境への意識向上や里山里海湖の保全・再生意識への醸成に寄与し実現させるために、「年縞研究の推進」「水月湖年縞の展示」「教育普及活動」を柱とした、年縞研究展示の拠点整備をおこなうこととした。

また、基本計画における整備場所は、水月湖年縞を育んだ豊かな自然の三方五湖を感じながら観覧できる湖周辺を予定地としており、建設用地確保の協力が得やすい若狭町所有地であること、また近隣施設との連携が図りやすいこと等の理由から、整備場所を若狭町鳥浜の縄文ロマンパーク内の川風広場とした。

(2) 施設の概要

ア 所在地 福井県三方上中郡若狭町鳥浜 122-12-1 縄文ロマンパーク内

イ 敷地面積 6,409 m²

ウ 構造および延面積

(ア) 展示棟（工期：平成 29 年（2017 年）3 月～平成 30 年 5 月（電気…～平成 30 年 8 月））

- ・ 構造等 鉄筋コンクリート・鉄骨・木 混構造 2 階建て
- ・ 延面積 996.08 m²

(イ) 研究棟 I（工期：平成 29 年 9 月～平成 30 年 5 月）

- ・ 構造等 木造平屋建て
- ・ 延面積 461.70 m²

(ウ) 研究棟 II（工期：平成 29 年 9 月～平成 30 年 5 月）

- ・ 構造等 木造平屋建て
- ・ 延面積 321.57 m²

エ 総事業費 約 14.8 億円

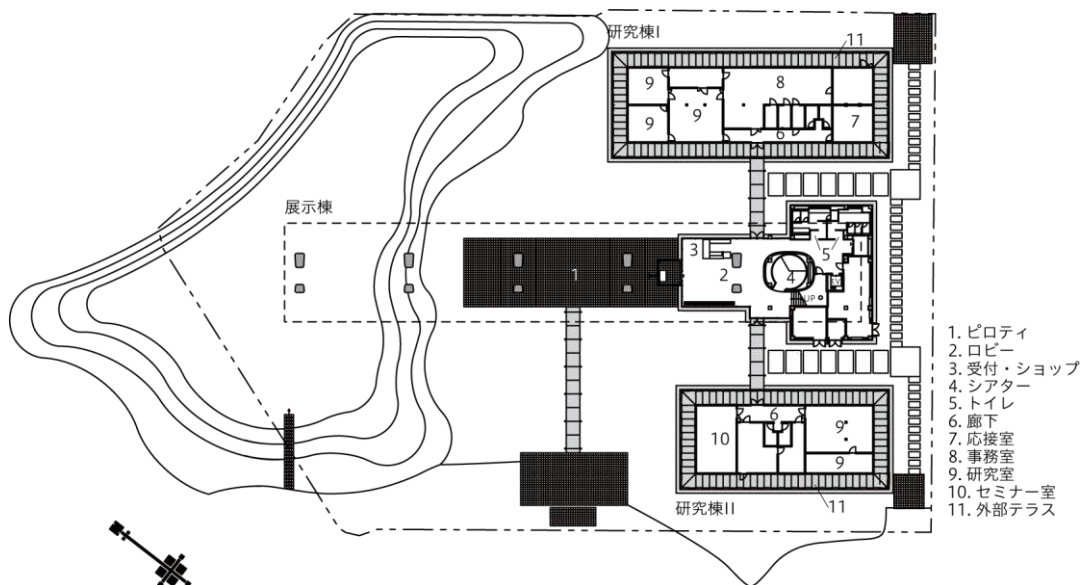
※ () 内の金額は工事等の合計金額。単位は千円

工事区分	工事等の内容		金額 (千円)
展示工事 (319,113)	展示工事		259,352
	その他	基本設計 (展示)、実施設計 (展示)、実物加工	59,761
建築工事 (1,114,962)	展示棟 (663,166)	建築工事	487,089
		電気設備工事	76,901
		機械設備工事	72,392
		木材調達	26,784
	研究棟 I (161,331)	建築工事	114,372
		電気設備工事	23,544
		機械設備工事	23,415
	研究棟 II (134,453)	建築工事	96,660
		電気設備工事	13,392
		機械設備工事	24,401
	その他 (156,012)	地質調査	10,325
		基本設計 (建築)	14,472
		実施設計 (建築)	39,096
		工事監理	24,997
		解体撤去工事等	41,116
		上下水道、駐車場負担金	22,926
工事事務費		3,080	
外構工事		49,899	
計			1,483,974

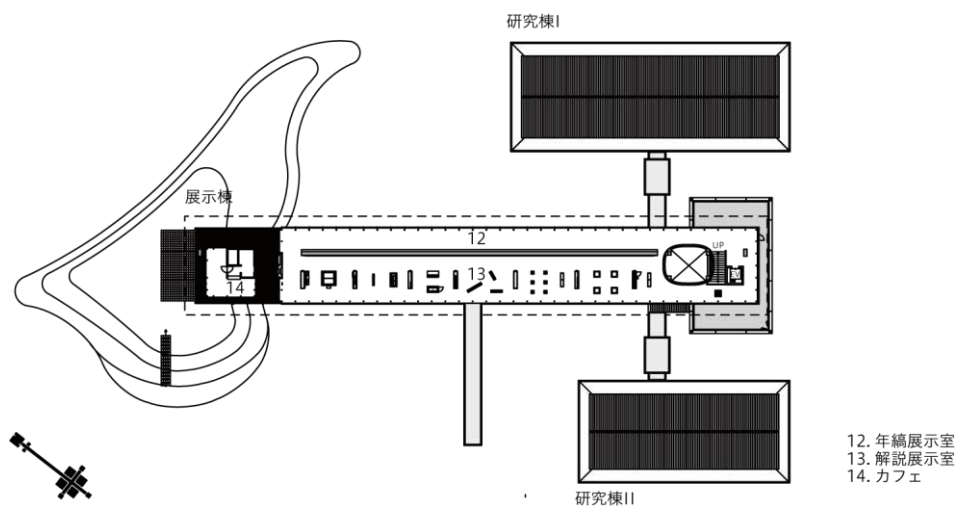
オ 平面図および面積表

(ア) 平面図

a 1階 (展示棟、研究棟I、研究棟II)



b 2階 (展示棟のみ)



(イ) 面積表

a 展示棟

1 階		2 階	
室名	面積 (㎡)	室名	面積 (㎡)
ロビー	152.36	展示室 (階段部含む)	616.09
シアター	28.39	カフェ (トイレ、キッチン含む)	41.31
空調機械室	48.32	開放廊下	20.28
電気室	20.21		
ポンプ室	6.62		
トイレ、風除室他	62.50		
計	318.40		677.68

b 研究棟 I

1 階	
室名	面積 (㎡)
応接室	26.73
里山里海湖研究室	51.84
事務室	88.29
研究室	26.73
研究作業室	26.73
資料庫	26.73
倉庫	19.44
更衣室、給湯室、トイレ他	195.21
計	461.70

c 研究棟 II

1 階	
室名	面積 (㎡)
学芸員室	18.63
立命館研究室	56.70
来訪者研究室	24.30
セミナー室	48.60
展示倉庫	30.78
トイレ他	142.56
計	321.57

(3) 管理運営³

ア 開館時間および入館時間（規則第2条関係）

午前9時から午後5時まで（入館時間は午後4時30分まで）

イ 休館日（規則第3条関係）

次の（ア）から（ウ）までに掲げるとおりである。ただし、館長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

（ア）12月29日から翌年の1月2日までの日

（イ）資料の展示替えまたは整理の期間

（ウ）施設の点検または清掃の期間

ウ 常設展の観覧料（条例第5条関係）

区 分		金 額	
個人	観覧券により観覧する場合	一般	500円
		小学生・中学生・高校生	200円
	共通観覧券により観覧する場合	一般	350円
		小学生・中学生・高校生	140円
団体	観覧券により観覧する場合	一般	400円
		小学生・中学生・高校生	160円
	共通観覧券により観覧する場合	一般	280円
		小学生・中学生・高校生	110円

（1）「団体」とは、一団の観覧者の数が20人以上のものをいう。

（2）「観覧券」とは、年縞博物館が展示する年縞資料の観覧に利用することができる券をいう。

（3）「共通観覧券」とは、年縞博物館が展示する年縞資料の観覧および規則で定めるものの観覧に共通して利用することができる券をいう。

（4）「小学生・中学生・高校生」とは、小学校、中学校または高等学校に在学する者その他これらに類する者をいう。

（5）常設展は、小学校就学の始期に達するまでの者および70歳以上の者については、無料とする。

エ 使用料（条例第6条関係）

（ア）施設

区 分	金 額		
	9時から12時まで	12時から17時まで	9時から17時まで
セミナー室	810円	1,320円	2,040円

備考 使用者が観覧料、入場料等を徴収する場合の使用料の額は、この表に掲げる額にその3割に相当する額を加算した額とする。

³（福井県年縞博物館の設置および管理に関する条例（以下「条例」という。）および福井県年縞博物館の管理運営に関する規則（以下「規則」という。）より）

(イ) 設備

区 分	単 位	算定基礎	金 額
花粉分析器（セルソーター）	一式	1時間につき	3,670円

備考 使用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算する。

オ 手数料（条例第7条関係）

区 分	金 額
花粉分析器（セルソーター）を用いた花粉分析	1試料につき 17,820円

(4) 博物館法第29条の規定による博物館相当施設の指定年月日

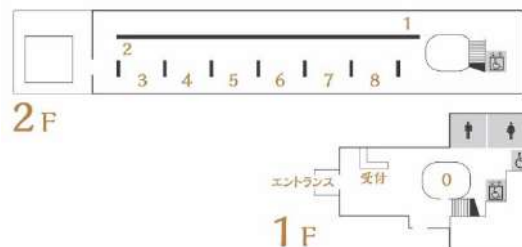
平成31年（2019年）2月22日

4 常設展示

福井県年縞博物館は、「年縞」の展示に特化した世界初の博物館である。博物館の主役は、水月湖からボーリングによって掘りだされた45mにもおよぶ細長い年縞であるため、これを展示する建物も細長い。



福井県年縞博物館（外観）



館内マップ（数字はセクション番号）

常設展示は、9つのセクションで構成される。以下にその概要を記す。

セクション0 年縞シアター

1階の「年縞シアター」では、円筒形の壁面180度と床面に5分程度の映像を上映する。来館者はまずこの映像で水月湖年縞の概要を理解してから、2階の展示を目にする導線になっている。

セクション1 水月湖年縞7万年ギャラリー

年縞博物館の目玉である。100枚の巨大プレパラート（年縞ステンドグラス）に加工した水月湖年縞の実物を、45m一直線に展示している。水月湖の湖底、つまり現在から過去へと7万年の時を遡る回廊となっている。

セクション2 水月湖年縞でたどる人類と環境

ステンドグラスの裏面にあたる45mの壁面では、過去7万年の年表を展示している。水月湖に年縞が形成され始めた7万年前は、古気候学としては最小氷期の始まり、人類史としては現生人類の世界拡散

の開始のタイミングに一致する。このセクションでは、水月湖年縞を歴史の目盛に見立て、人類と環境の7万年史を紹介している。



常設展示（セクション0～2）

セクション3 発見：水月湖の秘密

ここからは、年縞の各論展示となる。水月湖の年縞は、周辺の地形や地質、生物のありようなど幾つもの偶然が重なって形成された。このセクションでは、ドローンで撮影した湖底の映像やCGによる映像で、水月湖に年縞ができる仕組みを紹介している。

セクション4 較正：より正確な年代決定

水月湖の年縞は、科学者たちが7万枚を数え上げて定規のように目盛を付けたことで、「ものさし」として利用できるようになった。ここでは、年縞が年代のものさしになっている仕組み、放射性炭素年代測定法の解説、水月湖年縞の研究の歩みなどを紹介している。

セクション5 基準：「はかる」ということ

「正確にはかる」ことは社会の基本である。水月湖年縞が年代を正確にはかる道を切り開いたように、人類は「正確なはかり」や「共通のきまり」を手にする努力を続けてきた。ここでは東洋計量史資料館（松本市）の全面協力のもと、人類にとっての「はかることの歴史」を解説している。メートル／キログラム原器の複製や、秦始皇帝の枬（複製）や、秀吉の京枬などを展示している。



常設展示（セクション3～5）

セクション6 記録：世界の年縞

古気候学や年代学などの研究の最先端では、世界中の様々な自然のモノが年代の「ものさし」や環境の「記録計」として活用されている。ここでは、ドイツ、フィンランド、エジプト、イスラエル、モンゴル、メキシコなど世界中から集めた様々な時代の年縞や、サンゴや鍾乳石といった年縞以外の「天然の記録計」を展示している。

セクション7 再現：大昔の景色

年縞に含まれる花粉やケイソウ（プランクトン）を調べることによって、過去 7 万年間の気候を復元することが可能である。ここでは、代表的な花粉やプランクトンを 3D プリントした模型の展示と共に、古気候復元のカギとしての年縞について解説している。

セクション 8 展望：年縞と私たちのこれから

水月湖年縞に記録された 7 万年の過去は、気候変動を繰り返す地球に適応し生き抜いてきた人類の記録でもある。ここでは、その年縞から見える、これからの地球の姿を展望する。



常設展示（セクション 6～8）

5 IntCal20 と水月湖年縞

令和 2 年（2020 年）8 月 12 日、放射性炭素年代の較正曲線「IntCal」の最新版「IntCal20」が、米科学誌のラジオカーボン誌に発表された（原題「The IntCal20 Northern Hemisphere Radiocarbon Age Calibration Curve (0-55 cal kBP)」）。

IntCal13 から 7 年ぶりに更新されたこの最新版では、5 万 5000 年前までの年代較正が可能になった。含まれるデータ数は、IntCal13 からおよそ 2 倍の 1 万 2904 点に増えた。新しい時代の較正には、樹木の年輪が用いられる。ヨーロッパのマツの年輪からは約 1 万 2500 年前までのデータが得られている。またそれよりも古い年代の年輪については、「ウィグル・マッチング」と呼ばれる方法を使って較正曲線に組み込まれた。さらに古い年代については、新たに中国のフールー洞の石筍と、2013 年版から引き続き水月湖の年縞に含まれる葉化石から得られたデータが採用された。フールー洞と水月湖のデータは、樹木年輪がカバーしていないより古い放射性炭素年代を較正するためのデータとして、IntCal20 の中心部分を支えている。

今回の更新では、年輪がカバーするおよそ 1 万年前までについては年代に大きな変更はなかった。一方で 4 万年より古い年代については、従来から数百年の修正が加えられた部分もあった。4 万年前頃は、ちょうどネアンデルタール人が絶滅し現生人類がユーラシアに広く拡散した頃に相当する。IntCal20 により、より正確な年代とともにこの時代の人類史の議論が進むことが期待される

Ⅱ 事業の概要

1 行事等経過

月 日 (曜日)	行 事 等 内 容
令和6年 (2024年)	
3月 16日 (土)	年縞博物館と周辺施設が連携した「Lake Suigetsu」キャンペーン 実施 3月16日(土)～5月6日(月・祝)
4月 26日 (金)	SNSに写真投稿で豪華賞品が当たる「Instagram投稿キャンペーン～春の巻～」実施 4月26日(金)～5月31日(金)
6月 20日 (木)	ナビゲーター向け講習「中川毅教授によるディープな年縞展示解説」を公開 (1回目)
7月 1日 (月)	SNSに写真投稿で豪華賞品が当たる「Instagram投稿キャンペーン～夏の巻～」実施 7月1日(月)～8月31日(土)
7月 7日 (日)	イベント「縄文ロマンパーク七夕フェス」を開催
7月 18日 (木)	ナビゲーター向け講習「中川毅教授によるディープな年縞展示解説」を公開 (2回目)
8月 14日 (水)	福井県年縞博物館をライトアップ! 8月14日(水)～8月15日(木)
8月 22日 (木)	ナビゲーター向け講習「中川毅教授によるディープな年縞展示解説」を公開 (3回目)
9月 8日 (日)	特別講演&トークショー『とっておきの小惑星探査「はやぶさ」と水月湖「年縞」の熱い物語』を開催
9月 25日 (水)	年縞博物館にて琵琶湖博物館の所蔵品を展示 9月25日(水)～12月28日(土)
10月 2日 (水)	特別展「ナウマンゾウやネアンデルタール人が見た夜空」を開催 10月2日(水)～1月6日(月)
10月 26日 (土)	年縞博物館と縄文博物館で「ハロウィンナイトミュージアム」を開催
11月 16日 (土)	海外の年縞研究者による常設展示ガイドツアー
10月 26日 (土)	SNSに写真投稿で豪華賞品が当たる「Instagram投稿キャンペーン～秋冬の巻～」実施 10月26日(土)～12月25日(水)
2月 21日 (金)	嶺南で学ぶ留学生が、年縞博物館と縄文博物館を見学し SNS で発信
3月 3日 (月)	「ファイブ・レイクス・キャンペーン」に向けた5者協議会を開催
3月 6日 (木)	年縞博物館の来館者が30万人を達成記念式典
3月 15日 (土)	「ファイブ・レイクス・キャンペーン」を実施 3月15日(土)～5月6日(火曜振休)

3月 15日 (土)

北陸新幹線敦賀延伸1周年記念 ミニ企画展を開催
3月15日(土)～5月6日(火曜振休)

2 特別展示

(1) 特別展

ア 特別展「ナウマンゾウやネアンデルタール人が見た夜空」

開催期間：令和6年10月2日(水)～令和7年1月6日(月)

開催場所：地磁気移動編：福井県年縞博物館 オーロラ歴史編：若狭三方縄文博物館

主催者：福井県年縞博物館・若狭三方縄文博物館

協力：Institute de Geologia Ambientale e Geoingneria (イタリア)、JAXA、NASA、国立極地研究所、東京大学木曾観測所、トゥルク大学(フィンランド)、長野県立歴史館、野尻湖ナウマンゾウ博物館、兵頭政幸(神戸大学名誉教授)、福井県立歴史博物館、ミラノ・ピッコカ大学(イタリア)、立命館大学古気候学研究センター、山根一眞、早稲田大学

概要：約4万年前、まだ日本にナウマンゾウがいて、ヨーロッパにネアンデルタール人がいた時代、地磁気極は大きく移動していた。地磁気は弱まり、地球は宇宙線や太陽フレアから大きな影響を受けた。そして、地球のあちこちでオーロラが見られたかもしれない。約4万年前の地磁気極移動と、オーロラの発生について紹介。

イ 特別展記念講演会「日本でオーロラの見える時」

開催日時：令和6年10月26日(土) 14:00～16:30

開催場所：リブラ若狭

概要：地磁気研究・オーロラ研究の第一人者である研究者を招聘し、地磁気と宇宙線との関連についての講演と兵頭政幸氏(神戸大学名誉教授)・片岡龍峰氏(国立極地研究所准教授)によるパネルトーク「宇宙が地球環境を変える」を実施した。

基調講演：「水月湖の年縞が明らかにした地磁気極の高速反転」

講師：兵頭政幸氏(神戸大学名誉教授)

「日本に現れたオーロラの謎」

講師：片岡龍峰氏(国立極地研究所准教授)

(2) 企画展示

ミニ企画展「1991・1993年水月湖・三方湖ボーリングコアの研究記録」

(北陸新幹線敦賀延伸1周年記念)

開催期間：令和7年3月15日(水)～5月6日(火)

開催場所：福井県年縞博物館 展示棟 1F

概要：水月湖の年縞は世界標準の「年代のものさし」となっている。その発見は今から 30 年以上前にさかのぼる。令和 7 年度に再び水月湖のボーリング調査が行われることに先立ち、年縞が発見された貴重な研究資料を展示した。

3 教育普及活動

(1) 年縞講座

内容：水月湖の年縞が歴史の年代を知る「ものさし」として、世界に大きな貢献をしていることを知ってもらい、年縞についてより深い理解をしてもらうために、出前講座や、博物館の団体予約の来館者に対して講座を開催している。

日付	依頼者	場所	人数	タイトル	講演者
4月20日(水)	福井大学教育学部	年縞博物館セミナー室	23名	水月湖の年縞堆積物	北川学芸員
7月6日(土)	福井大学教育学部 同窓会 福応会	ニューサンピ ア敦賀(敦賀)	80名	7万年のすごい縞、水月湖年縞	北川学芸員
7月24日(水)	岐阜県立恵那高校	縄文博物館	87名	年縞って何だろう？(博物館見 学前の予備知識講座)	朝日研究員
10月30日(木)	放送大学石川学習 センター	縄文博物館	32名	水月湖の年縞堆積物	北川学芸員
2月15日(金)	新知創造学際ハブ	東北大学金属 材料研究所 2 号館講堂	現地 65名 オンラ イン 47名	「年代のものさし」になった水 月湖の年縞	北川学芸員
2月21日(金)	青池学園	年縞博物館	45名	年代のものさし 水月湖の年 縞(ねんこう varve)	北川学芸員

(2) トークショー「世界をぶっちぎった！」主役たちが本音で語るとっておきの小惑星探査「はやぶさ」と水月湖「年縞」の熱い物語

内容：小惑星に着陸し、石や砂の試料を採取した小惑星探査「はやぶさ2」プロジェクトにおいて中心となって活躍したメンバーを招き講演会とトークショーを開催した。

開催日時：令和 6 年 9 月 8 日(日) 14:00~16:30

開催場所：リブラ若狭

講師　　：津田雄一氏（JAXA 教授）・吉川真氏（JAXA 准教授）・久保田孝氏（東京大学教授）・
中川毅氏（立命館大学古気候学研究センター長）

参加人数：108 名

（3）立命館大学サマースクール

内容　　：これからの世代である県内高校生に地質年代の「世界標準ものさし」水月湖年縞について理解を深めてもらい、研究に興味を持ってもらうため、立命館大学研究者らによる年縞についての講義と博物館の見学、実習を実施。

講師　　：中川毅教授・北場育子准教授（立命館大学古気候学研究センター）
北川淳子学芸員（年縞博物館）

会場　　：年縞博物館 縄文博物館

日程　　：7月24日（木）

参加者等：若狭高等学校39名

（4）教科書等への「年縞」の掲載

[教科書]

・中学校教科書への水月湖「年縞」の掲載

理科　　探求する新しい科学1（東京書籍）
未来へひろがるサイエンス1（啓林館）
社会　　最新 新しい日本の歴史（育鵬社）

4 資料収集活動

（1）メキシコの年縞の常設展示工事業

メキシコ、サン・クラウディオ湖の年縞

常設展示を充実させるため、メキシコのサン・クラウディオ湖で採取された年縞試料を「世界の年縞」コーナーに追加する展示工事を実施した。

サン・クラウディオ湖はメキシコのタバスコ州に位置する直径約 300 メートル、深さ約 27 メートルの湖で、湖畔にはマヤ文明の遺跡が遺されている。同湖からは、マヤ文明の時代をほぼカバーする約 3000 年分の年縞が発見されている。本事業では、そのなかの紀元前 590 年から紀元後 1290 年頃に相当する



サン・クラウディオ湖の年縞の展示風景

試料を大型のガラス薄片に加工するとともに、既存の展示什器に改良工事をおこない設置した。

※展示協力：立命館大学古気候学研究センター

5 来館促進活動

(1) 各種イベント・キャンペーン

ア 年縞博物館と周辺施設が連携した「Lake Suigetsu (レイク・スイゲツ)」キャンペーン

○美浜町レイクセンター・年縞博物館・縄文博物館 相互割引

期間：令和6年3月16日(土)～5月6日(月・祝)

内容：期間中、以下のとおり博物館観覧料および電池推進船乗船料の割引を実施

【年縞博物館、縄文博物館受付での手続き】

電池推進船の乗船券を提示で観覧料2割引き

・普通券 大人：500円→400円

小中高生：200円→160円

・両館共通券 大人：700円→560円

小中高生：280円→220円

【美浜町レイクセンター受付での手続き】

年縞博物館または縄文博物館の観覧券（共通観覧券含む）もしくは館内

パンフレットを提示で乗船料110円引き

・大人：1,980円→1,870円

・小人：990円→880円

○若狭町観光船レイクルーズ・年縞博物館・縄文博物館 相互割引

期間：令和6年4月1日(月)～5月6日(月・祝)

内容：期間中、以下のとおり博物館観覧料および若狭町観光船レイククルーズの割引を実施

【年縞博物館、縄文博物館受付での手続き】

レイククルーズの乗船券を提示で観覧料2割引

・普通券 大人：500円→400円

小中高生：200円→160円

・両館共通券 大人：700円→560円

小中高生：280円→220円

【若狭町観光船レイククルーズ受付での手続き】

年縞博物館または縄文博物館の観覧券（共通観覧券含む）もしくは館内パンフレットを提示で乗船料110円引き

・大人：1,400円→1,290円

・小人：600円→490円

イ SNSに写真投稿で豪華賞品が当たる「Instagram投稿キャンペーン～春の巻～」実施

期間：令和6年4月26日（金）～5月31日（金）

内容：年縞博物館とその周辺で撮影した写真を投稿した人の中から抽選で10名に豪華景品をプレゼントする「Instagram投稿キャンペーン～春の巻～」を実施

期間中にInstagramでハッシュタグ「#vm2024spr」を付けて投稿

ウ ナビゲータ向け講習「中川毅教授によるディープな年縞展示解説」を公開（1回目）

実施日：令和6年6月20日（木）

内容：中川毅教授（立命館大学古気候学研究中心）によるナビゲーターのスキル向上のための研修を初めて一般公開

エ SNSに写真投稿で豪華賞品が当たる「Instagram投稿キャンペーン～夏の巻～」実施

期間：令和6年7月1日（月）～8月31日（土）

内容：年縞博物館とその周辺で撮影した写真を投稿した人の中から抽選で10名に新商品「放射性炭素一輪挿し」をプレゼントする「Instagram投稿キャンペーン～夏の巻～」を実施

期間中にInstagramでハッシュタグ「#vm2024smr」を付けて投稿

オ イベント「縄文ロマンパーク七夕フェス」を開催

実施日：令和6年7月7日（日）

内容：隣接の若狭三方縄文博物館、cafe 縞およびレインボーライン山頂公園と連携したイベント「縄文ロマンパーク七夕フェス」を開催

- カ ナビゲーター向け講習「中川毅教授によるディープな年縞展示解説」を公開（2回目）
実施日：令和6年7月18日（木）
内容：中川毅教授（立命館大学古気候学研究センター）によるナビゲーターのスキル向上のための研修を一般公開
- キ 福井県年縞博物館をライトアップ
期間：令和6年8月14日（水）～8月15日（木）
内容：夜の博物館の建物を楽しんでもらうため、20時まで年縞博物館内の照明を点灯した。
- ク ナビゲーター向け講習「中川毅教授によるディープな年縞展示解説」を公開（3回目）
実施日：令和6年8月22日（木）
内容：中川毅教授（立命館大学古気候学研究センター）によるナビゲーターのスキル向上のための研修を一般公開
- ケ 年縞博物館と縄文博物館で「ハロウィンナイトミュージアム」を開催
実施日：令和6年10月26日（土）17：00～20：00（最終入館10：30まで）
場所：福井県年縞博物館と若狭三方縄文博物館
主催：福井県年縞博物館、若狭三方縄文博物館、cafe 縞
内容：観覧料を減免（無料）、お菓子のプレゼント、ハロウィン限定缶バッジをプレゼント、夜の年縞ギャラリー（年縞博物館）、縄文 de きもだめし（縄文博物館）、縄文 de コンサート（縄文博物館）など
- コ SNSに写真投稿で豪華賞品が当たる「Instagram投稿キャンペーン～秋冬の巻～」実施
期間：令和6年10月26日（土）～12月25日（水）
内容：年縞博物館とその周辺で撮影した写真を投稿した人の中から抽選で10名に『年縞博物館解説書』+おまけの品をプレゼントする「Instagram投稿キャンペーン～秋冬の巻～」を実施
期間中にInstagramでハッシュタグ「#vm2024aw」を付けて投稿
- サ 年始イベント
実施日：令和6年1月3日（金）
場所：福井県年縞博物館
内容：来館者におみくじ缶バッジを用意

シ 嶺南で学ぶ留学生が、年縞博物館と縄文博物館を見学し SNS で発信

実施日：令和 7 年 2 月 21 日（金）

内容：留学生の SNS 等を活用し、年縞博物館や縄文博物館をはじめ嶺南地域の観光資源等に関する情報を、母国等に SNS 発信

ス 「ファイブ・レイクス・キャンペーン」に向けた 5 者協議会を開催

実施日：令和 7 年 3 月 3 日（月）

内容：北陸新幹線開業 1 周年、春の行楽シーズンの開幕に合わせて三方五湖エリアの 5 つの団体が連携して行う観光キャンペーン「ファイブ・レイクス・キャンペーン」の開催に向けた協議会を開催

セ 年縞博物館の来館者 30 万人達成記念式典

達成日：令和 7 年 3 月 6 日（土）

神戸市から訪れたご家族 3 名 開館から 6 年 6 か月での達成

ソ 北陸新幹線敦賀延伸記念 ミニ企画展

1991・1993 年水月湖・三方湖ポーリングコアの研究記録

詳細は 2 特別展（2）企画展示に記載の通り

6 地域（近隣施設）との連携

（1）キャンペーン・イベント

ア 年縞博物館と周辺施設が連携した「Lake Suigetsu」キャンペーンを開催

詳細は 5 来館促進活動に記載のとおり。

イ 年縞博物館、縄文博物館、レインボーライン山頂公園が連携した「縄文ロマンパークセタフェス」を開催

詳細は 5 来館促進活動に記載のとおり。

ウ 年縞博物館と縄文博物館で「ハロウィンナイトミュージアム」を開催

詳細は 5 来館促進活動に記載のとおり。

（2）その他

・福井県立三方青年の家（宿泊利用者）および国立若狭湾青少年自然の家利用者（日程の一環で観覧

した者)は、観覧料を減免(無料)

- ・若狭町および美浜町の飲食店や民宿等に年縞博物館と縄文博物館共通で使用できる2割引券を配布

7 地域の魅力向上

(1) イベント

ア 周辺施設と連携して、Lake Suigetsu (レイク・スイゲツ) キャンペーンを開催

- 5 来館促進活動 に詳細を記載した通り。

イ 周辺施設と連携して、縄文ロマンパークセタフェスを開催

- 5 来館促進活動 に詳細を記載した通り。

ウ 年縞博物館と縄文博物館で「ハロウィンナイトミュージアム」を開催

- 5 来館促進活動 に詳細を記載した通り。

8 立命館大学との連携

県と立命館大学は、相互の連携協力により、年縞を基にした学術、研究、教育の発展を図ることを目的に、平成27年(2015年)10月22日「福井県と立命館大学との年縞を基にした研究等に関する基本協定」を締結した。

(1) 協定における協力事項

- ・研究の推進および学術研究への相互支援
- ・研究者、職員の交流
- ・学術資料および情報の交換
- ・県民への教育および生涯学習の推進 等

(2) 協定に基づく連携

ア 立命館大学サマースクール

詳細は2 教育普及活動 (3) 立命館大学サマースクールに記載の通り

ウ 海外の年縞研究者らによるガイドツアーを開催

概要：水月湖年縞の研究に携わる英国の研究者から直に解説を受けられるガイドツアーを開催

講師：ダニエル・マクリーン氏 (オックスフォード大学 考古学教室 博士研究員)

日時：令和6年11月16日(土) 10:00~15:30

9 滋賀県立琵琶湖博物館との連携

令和2年7月30日開催の「滋賀県・福井県知事懇談会」において、年縞博物館と琵琶湖博物館の連携について、両県が合意した。

(1) 知事懇談会での合意事項

- ・年縞ステンドグラスを琵琶湖博物館に展示するなど、両博物館で互いの所蔵品を展示・紹介
- ・年縞博物館が開催する講座に琵琶湖博物館の学芸員を講師として招へい
- ・小中学校の教育旅行による交流に向け、互いの博物館や周辺施設の情報を紹介

(2) 合意事項に基づく実施事業

ア 相互の所蔵品の展示・紹介、学芸員の相互派遣

琵琶湖博物館で年縞博物館の収蔵品を展示

内容 : 縞博物館で琵琶湖の企画展「湖底探検 II」の紹介のため、展示している湖底のビデオを上映し、ちらしを配布（湖ラボ展）

日時 : 令和6年9月25日（水）～令和6年12月28日（土）

場所 : 年縞博物館1階

展示物 : ①ビデオ「琵琶湖の湖底」、②「湖底探検 II」展示解説書



展示の様子

イ 小中学校の教育旅行の交流に向けた博物館等の紹介

嶺南教育実践フォーラム（令和7年2月5日～2月7日）での両館のPR映像配信

10 受入環境の充実

(1) 常駐ナビゲーターの配置

博物館内の展示案内・解説を行うナビゲーターを常時1名～3名配置

（年縞博物館展示案内員2名、里山里海湖相談員4名が順次）

1 1 広報・刊行物等

(1) ホームページ等の開設・運用

ア 公式ホームページ

開設日：平成30年（2018年）7月31日（トップページ公開）※同年9月14日に全ページ公開

内容：年縞博物館に関する新着情報、開館情報、アクセスなど来館に当たり必要な情報をリアルタイムに発信

言語：日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）

アクセス数：約375,398件（令和6年（2024年）4月1日～令和7年（2025年）3月31日まで）

イ SNS（Instagram、Facebook、X（旧Twitter））

運用開始日：令和2年（2020年）7月8日

内容：広報活動の充実、年縞博物館に関する新着情報の発信

(2) 印刷物の発行（主なもの）

ア 年縞博物館 解説書

A4判87頁

令和6年（2024年）6月発行 1,100部

令和7年（2025年）1月発行 1,200部

イ 年縞博物館三つ折りパンフレット

A4判4頁

令和6年（2024年）6月 20,000部

令和6年（2024年）12月 20,000部

言語 日本語

ウ 館内パンフレット

560mm×120mm、7面折り

令和6年（2024年）8月発行 30,000部

言語 日本語

エ 特別展（ナウマンゾウやネアンデルタール人が見た夜空）チラシ・ポスター

チラシA4判、25,000部 ポスター B2判、300部

令和6年（2024年）8月発行

オ 特別展（ナウマンゾウやネアンデルタール人が見た夜空）副読本

A4判 17頁、18,000部

令和6年(2024年)10月発行

カ 福井県年縞博物館 年報(第5号)

A4判、本文51頁 200部

令和7年(2025年)1月発行

(3) 広報活動

雑誌、新聞、テレビ、ラジオ等多様なメディアを活用し、情報を発信した。

主な実績は次のとおりである。

ア 雑誌

- ・ JR西日本 「西Navi北陸5月号」(2024年4月29日発行)
- ・ ダイナースクラブ シグネチャー6月号 (2024年5月10日発行)
- ・ (株)リクルート『東海じゃらん』7/1発売号(2024年7月1日発行)
- ・ 株式会社プラネットライツ 時空旅人VOL.81 (2024年7月26日発行)
- ・ & Premium 2024年8月号(2024/6/20発行)
- ・ ディスカバリージャパン DiscoverJapan 12月号 (2024年11月6日発行)

イ 新聞

- ・ 福井新聞 越山若水(2024年4月29日)
- ・ 福井新聞「年縞博の写真、動画 インスタで投稿を」(2024年5月8日)
- ・ 県民福井「オーロラか 水月湖上空で撮影」(2024年5月15日)
- ・ 福井新聞「縄文ロマン 浸る七夕を」(2024年6月19日)
- ・ 福井新聞「県年縞博 第一人者が説明」(2024年6月21日)
- ・ 県民福井「七夕の日 若狭町でフェス楽しんで」(2024年7月4日)
- ・ 朝日新聞「湖が語る『暴れる気候』」(2024年6月21日)
- ・ 福井新聞「科学の扉 図鑑で開いて」(2024年6月21日)
- ・ 福井新聞「建築の美しさPRへ 年縞博ライトアップ」(2024年8月13日)
- ・ 県民福井「県年縞博物館ライトアップ」(2024年8月14日)
- ・ 福井新聞「『はやぶさ2』苦勞語る」(2024年9月10日)
- ・ 福井新聞「琵琶湖の水草紹介」(2024年10月8日)
- ・ 福井新聞「4万年前の現象知ろう」(2024年10月20日)
- ・ 県民福井「琵琶湖の水草紹介」(2024年11月2日)
- ・ 県民福井「インスタ投稿者に抽選でグッズ贈呈」(2024年11月10日)
- ・ 福井新聞「『暴れる気候』解明 年縞掘削へ」(2024年11月16日)
- ・ 福井新聞「2万年前福井沖 水温5度」(2024年12月6日)

- ・ 県民福井「太古のオーロラ思いはせ」 (2024年12月17日)
- ・ 読売新聞「地球のS極N極今と違った？」 (2024年12月25日)
- ・ 福井新聞「県からのお知らせ」 (2025年1月1日)
- ・ 県民福井「県からのお知らせ」 (2025年1月1日)
- ・ 福井新聞「ドーンと福井in神楽坂」 (2025年1月4日)
- ・ 福井新聞「年縞掘削間近で見よう」 (2025年1月17日)
- ・ 読売新聞「地球史7万年最後の掘削」 (2025年2月12日)
- ・ 読売新聞「県年縞博物館 祝30万人突破」 (2025年3月7日)
- ・ 福井新聞「県年縞博 30万人突破」 (2025年3月7日)
- ・ 福井新聞「県からのお知らせ」 (2025年3月15日)
- ・ 福井新聞「年縞わかりやすく案内」 (2025年3月16日)

ウ その他広報誌等

- ・ Web「じゃらんニュース」 (2024年5月31日)
- ・ Web「GOOD LUCK TRIP」 (2024年7月1日)

エ テレビ

- ・ 美方ケーブルネットワーク「年縞博物館Instagram投稿キャンペーン」 (2025年5月7日)
- ・ 美方ケーブルネットワーク「年縞博物館特別展『ナウマンゾウやネアンデルタール人が見た夜空』」
(2024年10月15日)
- ・ 美方ケーブルネットワーク「年縞博物館 来館者25万人達成」 (2025年3月21日)

オ ラジオ

- ・ FBCラジオ「若狭ほっと直送便」北陸新幹線沿線一度は行きたい湖沼スポット
(2024年4月12日)

(4) ミュージアムグッズ

ア グッズ一覧

- ・ 年縞ステンドグラス定規 300円
- ・ 年縞定規 (30cm) 600円
- ・ 7万年のシマシマ定規 200円
- ・ リアル年縞ネクタイ 5,300円
- ・ ものさしにもなるクリアファイル 150円
- ・ 葉っぱが出てくるクリアファイル 150円
- ・ 年縞博物館クリアファイル 150円
- ・ キーホルダー (年縞ステンドグラス) 250円

- ・ 年縞博物館マグネット 300円
- ・ シマシマコースター（越前和紙） 200円
- ・ シマシマハンドタオル 600円
- ・ 年縞ふせん 300円
- ・ にゃんこ博士メモパッド 400円
- ・ ジグソーパズル（年縞） 1,000円
- ・ ジグソーパズル（花粉） 1,000円
- ・ 年縞ポスター 500円
- ・ ポストカード（16種） 100円/枚
- ・ 放射性炭素一輪挿し 4,300円
- ・ 植生キーホルダー 800円
- ・ 植生ピアス 1,600円

イ 取扱書籍一覧（※現在取り扱っていないものも含む）

- ・ 人類と気候の10万年史過去に何が起きたのか、これから何が起こるのか
中川毅（著）講談社
- ・ 時を刻む湖7万枚の地層に挑んだ科学者たち
中川毅（著）岩波書店
- ・ 世界のものさし水月湖年縞
若狭三方縄文博物館編
- ・ 名探偵コナン推理ファイル人類の謎
原作／青山剛昌まんが／太田勝まんが／窪田一裕小学館
- ・ メタルカラーの時代12空前絶後のスーパー仕事師
山根一眞（著）小学館
- ・ 新しい1キログラムの測り方科学が進めば単位が変わる
白田孝（著）講談社
- ・ チェンジング・ブルー気候変動の謎に迫る
大河内直彦（著）岩波書店
- ・ 月刊誌「地図中心」6月号

ウ 図録一覧

- ・ 図録古代エジプト文明-気候変動と水辺の民 500円
- ・ 図録 シマシマが語る46億年の歴史 500円
- ・ 図録 掘る！未知の世界を拓く掘削技術 1,100円
- ・ 福井県年縞博物館 解説書 1,500円

12 営業活動

(1) 観光商談会

ア 福井観光商談会（大阪）

日付：令和6年6月25日（火）
会場：ホテル阪神大阪(大阪市福島区)
実績：旅行会社12社に対して商談を実施

イ 北陸観光PR会議（東京）

日付：令和6年6月11日（火）
会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋（東京都中央区）
内容：年縞博のブース設置、商談タイム
実績：旅行会社13社に対して商談を実施

ウ 福井観光商談会（長野）

日付：令和6年9月3日（火）
会場：ホテルメトロポリタン長野（長野市）
内容：福井県からのプレゼンテーション、商談タイム
実績：旅行会社10社に対して商談を実施

エ 首都圏北陸地区観光商談会（東京）

日付：令和6年9月17日（火）
会場：ホテルメトロポリタン池袋（東京都豊島区）
内容：福井県からのプレゼンテーション、商談タイム
実績：旅行会社11社に対して商談を実施

オ 福井観光商談会(東京)

日付：令和6年11月12日（火）
会場：ホテルメトロポリタン池袋（東京都豊島区）
内容：福井県からのプレゼンテーション、商談タイム
実績：旅行会社13社に対して商談を実施

(2) 出向宣伝

ドーンと福井 in 神楽坂 越前・若狭まつり

日付：令和6年11月23日（土）11:00～18:00
11月24日（日）10:00～17:00

会場：赤城神社境内（東京新宿区）

主催：福井県、（一社）若狭湾観光連盟 共催：福井新聞社 協賛：関西電力（株）

内容：実物年縞ステンドグラス展示、パネル展示、PR映像、パンフレット等配布

備考：両日ともに山根一真特別館長が展示説明を実施

（3）営業訪問

ア 東京都下23区教育委員会訪問

日付：令和6年11月11日～令和6年11月15日

内容：当館のご紹介および、嶺南への教育旅行PRの為東京都23区の教育委員会の教育旅行
担当者を訪問

イ 県内小学校・中学校へ訪問

日付：令和7年2月14日～令和7年3月14日

内容：1学年当たり2クラス以上の学校の内、県内小学校63校、中学校31校を訪問し、
縄文博物館・年縞博物館の資料を配布。

嶺南への教育旅行・体験学習・知名度向上のために訪問。

Ⅲ 運用状況

1 入館者数

(1) 来館者の推移

月	令和5年度(2023年度)		令和6年度(2024年度)		対前年比	
	来館者数 (人)	観覧料(円)	来館者数 (人)	観覧料(円)	来館者数	観覧料
4月	2,789	602,950	4,083	¥901,560	146%	150%
5月	5,622	1,151,230	5,944	¥1,309,650	106%	114%
6月	3,709	685,390	4,188	¥826,110	113%	121%
7月	4,085	826,310	4,140	¥859,070	101%	104%
8月	5,112	1,177,760	6,610	¥1,647,700	129%	140%
9月	3,793	671,940	4,571	¥1,061,950	121%	158%
10月	4,998	871,090	5,721	¥945,750	114%	109%
11月	4,755	910,710	5,807	¥1,218,280	122%	134%
12月	2,263	522,400	2,539	¥544,370	112%	104%
1月	1,038	265,240	1,708	¥411,680	165%	155%
2月	2,115	520,370	1,354	¥306,420	64%	59%
3月	3,527	762,010	4,000	¥835,610	113%	110%
年度合計	43,806	8,967,400	50,665	10,868,150		
累計	252,927	45,892,200	303,592	56,760,350		

(2) 来館者セレモニー

来館者数	達成年月日(曜日)	対象来館者	備考
30万人	令和7年(2025年)3月6日(木)	神戸市からのご家族	3名様

2 年縞資料等貸出状況

貸出期間	貸出相手	資料種別	利用目的
自：令和6年5月31日 至：令和7年5月30日	福井市自然史博物館分館 (セーレンプラネット)	実物年縞標本	常設展示
自：令和6年5月7日 至：令和6年7月20日	福井県立若狭図書学習センター	写真 ・ステンドグラス ・掘り出した年縞の処理 ・年縞ステンドグラス ・水月湖と梅丈岳	令和6年度 福井ライフ・アカデミー講座「自然科学」若狭①7月20日(土)のPR
自：令和6年5月19日	聖教新聞社	年縞のでき方(模式図)	聖教新聞5月19日付10面「環境のページ」掲載
自：令和6年6月20日	株式会社雄山閣	水月湖年縞写真	『季刊考古学』168号表紙に使用
自：令和6年7月24日 至：令和7年7月23日	東洋計量史資料館	実物年縞標本	常設展示
自：令和6年8月	共立出版株式会社	年縞堆積物の掘削風景写真	シリーズ地球生命史第6巻『人類の進化—第四紀—』の「第3章 第四紀の環境変動の代替指標」に掲載
自：令和6年9月7日 至：令和7年4月中旬	田原本町教育委員会	年縞堆積物の掘削風景写真	唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト関連ミニ展示のパネル及びリーフレットへ掲載
自：令和6年9月20日 至：令和7年1月17日	長野県立歴史館	実物年縞標本	年縞博物館との相互貸借展示
自：令和6年12月1日 至：令和7年3月31日	ふじのくに地球環境史ミュージアム	実物年縞標本 年縞写真	企画展「全地球史」で展示
自：令和7年1月25日 至：令和7年2月22日	福井市至民中学校	年縞ステンドグラス 死海年縞標本 網走湖年縞標本	中学校第1学年の理科「大地の変化」の授業内で使用
自：令和7年3月7日 至：令和7年3月18日	美浜町レイクセンター	実物年縞標本	レイクフェスタ2025にて展示

3 展示運営、建築に関する受賞

平成30年（2018年）9月開館の福井県年縞博物館は、歴史は浅いものの、展示運営、展示デザイン、建築に関して高い評価を受けており、これまでに次の賞を受賞している。

(1) KUKAN DESIGN AWARD 2019 【SILVER PRIZE】

受賞日	令和元年（2019年）10月4日
贈賞団体	日本空間デザイン賞実行委員会
賞の趣旨	新しいデザイン価値や国内外の優れたデザイン人材の発掘を実現し、次世代の指標となるプラットフォームを構築する。
主な申請者	株式会社乃村工藝社

(2) 第38回日本ディスプレイ産業賞（2019）【奨励賞】

受賞日	令和元年（2019年）11月1日
贈賞団体	一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会
賞の趣旨	ディスプレイを通じて生活文化の向上および国土景観の発揚に寄与するため、賞揚し、その成果を公表して、ディスプレイ産業振興と社会的認知の向上を目指す。
主な申請者	株式会社乃村工藝社

(3) 第53回日本サインデザイン賞 【入選】

受賞日	令和元年（2019年）11月21日
贈賞団体	公益社団法人日本サインデザイン協会
賞の趣旨	優れたサインデザイン社会を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発を図る。
主な申請者	株式会社乃村工藝社

(4) 第6回日本展示学会賞

受賞日	令和2年（2020年）9月21日
贈賞団体	日本展示学会
賞の趣旨	展示に関する理論や芸術・技術の進歩を図るとともに展示学の社会的認識を高め、かつ、文化の発展に資する優れた研究・業績をたたえる。
主な申請者	選考委員会による決定

(5) SKY DESIGN AWARDS 2020 【GOLD PRIZE】

受賞日	令和2年（2020年）11月6日
-----	------------------

贈賞団体 メルシーマガジン社
賞の趣旨 リミットがない「Sky=空」のように、デザイナーが可能性を広げ、視野を広げる
ことのできるような機会を創出する。
主な申請者 株式会社乃村工藝社

(6) 第61回BCS賞

受賞決定日 令和2年(2020年)12月22日(受賞日は令和3年(2021年)4月19日)
贈賞団体 一般社団法人日本建設業連合会
賞の趣旨 わが国の良好な建築資産の創出を図り、文化の進展と地球環境保全に寄与する。
主な申請者 福井県

(7) 第52回中部建築賞 【入賞】

受賞日 令和3年(2021年)2月5日
贈賞団体 中部建築賞協議会
賞の趣旨 「持続可能な社会」を目指す時代の要請に応じて、地域と環境に根ざしている優
れた建築作品を表彰することにより、中部圏の建築文化の向上と地域の発展に寄
与する。
主な申請者 福井県

(8) 第1回AND賞 (Archi-Neering Design AWARD) 【優秀賞】

受賞日 令和3年(2021年)2月6日
贈賞団体 AND賞実行委員会
賞の趣旨 完成された建築作品としての評価だけでなく、そのプロジェクトが持つ固有の技
術的テーマ(構造や環境など)を明らかにし、デザインプロセス、しくみやしかけ、
素材や施工法などを真摯にイノベーティブに追及する人やチームを表彰する。
主な申請者 金箱構造設計事務所

(9) 第2回日本博物館協会賞

受賞決定日 令和3年(2021年)3月15日
受賞日 令和3年(2021年)11月17日
贈賞団体 公益財団法人日本博物館協会
賞の趣旨 博物館の振興に大きく貢献し、他の博物館の範となる顕著な成績を挙げていると
認められる国内施設を顕彰する。
主な申請者 選考委員会による決定

(10) 令和4年度木材利用優良施設等コンクール【優秀賞】

受賞日 令和4年(2022年)10月31日

贈賞団体 木材利用推進中央協議会

賞の趣旨 優れた施設を顕彰するとともに、年間を通じて国産材を大量に使用した事業者等を顕彰することにより、木材利用の一層の推進を図る。

(11) 第18回 公共建築賞【優秀賞】

受賞日 令和5年(2023年)5月30日

贈賞団体 (一社)公共建築協会

賞の趣旨 優れた公共建築を表彰することにより公共建築の総合的な水準の向上に寄与する。

主な申請者 福井県

(12) 科学ジャーナリスト賞2023 特別賞

受賞日 令和5年(2023年)6月3日

贈賞団体 日本科学技術ジャーナリスト会議

賞の趣旨 科学技術に関する報道や出版、映像などで優れた成果をあげた人を表彰する(ウェブサイトや博物館での展示なども含む)。

展示案内員	(会計年度任用職員)	福田 英則
展示案内員	(会計年度任用職員)	今川 政之

※エネルギー環境部自然環境課（里山里海湖研究所）との兼務職員

2 関係条例・規則

福井県年縞博物館の設置および管理に関する条例（平成 30 年 3 月 22 日福井県条例第 6 号）

(設置)

第 1 条 水月湖の年縞^こおよびこれに関連する資料（以下「年縞資料」という。）の収集、保管、展示、研究等を行い、もって県民の文化の向上および学術の振興に寄与するため、福井県年縞博物館（以下「年縞博物館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 年縞博物館は、三方上中郡若狭町に置く。

(業務)

第 3 条 年縞博物館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 年縞資料の収集、保管および展示
- (2) 年縞資料の調査および研究
- (3) 展示の内容および年縞資料の利用に関する説明、助言および指導
- (4) 年縞資料に関する講演会、研究会等の開催
- (5) 年縞資料に関する研究、発表等のために必要な施設または設備の提供
- (6) 年縞資料に関する試験および分析
- (7) 前各号に掲げるもののほか、年縞博物館の設置の目的にふさわしい業務

(施設等の使用の承認)

第 4 条 年縞博物館の施設または設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、知事の承認を受けなければならない。

(観覧料)

第 5 条 年縞博物館が展示する年縞資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に掲げる額の観覧料を納付しなければならない。

(使用料)

第 6 条 年縞博物館の施設等を使用しようとする者は、別表第 2 に掲げる額の使用料を納付しなければならない。

(手数料)

第 7 条 年縞博物館に対し、別表第 3 の上欄に掲げる分析（以下「分析」という。）を依頼しようとする者は、同表の下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

2 分析を依頼する者が特に迅速に処理することを要件として依頼する場合の手数料の額は、別表第 3 に掲げる額の 2 倍の額とする。

3 特別の経費を要する分析の依頼については、前2項に定める手数料のほかに、それに要する実費を徴収することができる。

(観覧料等の不還付)

第8条 既に納付した観覧料、使用料または手数料は、還付しない。ただし、知事が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(観覧料等の免除)

第9条 知事は、特に必要があると認めるときは、観覧料、使用料または手数料の全部または一部を免除することができる。

(入館の拒否)

第10条 知事は、年縞博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否することができる。

- (1) 施設等または展示品を損傷し、または滅失させる行為をするおそれがあるとき。
- (2) 他人に危害を加え、または迷惑となる行為をするおそれがあるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、年縞博物館の管理上支障があると認められるとき。

(入館者の遵守事項)

第11条 年縞博物館に入館した者(以下「入館者」という。)は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと(特に指定した展示品を除く。)
- (2) 展示品の近くでインキ、墨等を使用しないこと。
- (3) 知事の承認を受けずに展示品を模造し、模写し、または撮影しないこと。
- (4) 所定の場所以外で喫煙し、または飲食しないこと。
- (5) 他人に危害を及ぼし、または迷惑となる行為をしないこと。
- (6) その他係員の指示に従うこと。

2 知事は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に対して退館を命じ、または必要な措置をとることができる。

(使用者の遵守事項)

第12条 年縞博物館の施設等を使用する者(以下「使用者」という。)は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 第4条の承認を受けた使用内容を変更しないこと。
- (2) 施設等を毀損し、または汚損しないこと。
- (3) 第4条の承認を受けた施設等を転貸し、または当該承認に基づく権利を譲渡しないこと。
- (4) 館内の秩序または風俗を乱す行為をしないこと。
- (5) 知事の承認を受けずに作品、物品等の販売、寄附金の募集、立て看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、年縞博物館の管理上支障がある行為をしないこと。

2 知事は、使用者が前項の規定に違反したときは、第4条の承認を取り消すことができる。

3 使用者は、施設等の使用を終了したときは、原状に回復しなければならない。

(規則への委任)

第13条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して7月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成30年規則第42号で平成30年9月15日から施行)

附 則 (令和元年7月30日条例第4号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

別表第1 (第5条関係)

区 分			金 額	
常 設 展	個 人	観覧券により 観覧する場合	一般	500円
			小学生・中学生・高校生	200円
		共通観覧券により 観覧する場合	一般	350円
			小学生・中学生・高校生	140円
	団 体	観覧券により 観覧する場合	一般	400円
			小学生・中学生・高校生	160円
		共通観覧券により 観覧する場合	一般	280円
			小学生・中学生・高校生	110円
特 別 展	個 人	観覧券により観覧する場合	知事はその都度定める額(以下「特別展個人観覧料」という。)	
		共通観覧券により観覧する場合	特別展個人観覧料の7割に相当する額(以下「特別展個人共通観覧料」という。)	
	団 体	観覧券により観覧する場合	特別展個人観覧料の8割に相当する額	
		共通観覧券により観覧する場合	特別展個人共通観覧料の8割に相当する額	

備考

- (1)「団体」とは、一団の観覧者の数が20人以上のものをいう。
- (2)「観覧券」とは、年縞博物館が展示する年縞資料の観覧に利用することができる券をいう。
- (3)「共通観覧券」とは、年縞博物館が展示する年縞資料の観覧および規則で定めるものの観覧に共通して利用することができる券をいう。
- (4)「小学生・中学生・高校生」とは、小学校、中学校または高等学校に在学する者その他これらに類する者をいう。
- (5)常設展は、小学校就学の始期に達するまでの者および70歳以上の者については、無料とする。

別表第2（第6条関係）

（1）施設

区 分	金 額		
	9時から12時まで	12時から17時まで	9時から17時まで
セミナー室	810円	1,320円	2,040円

備考 使用者が観覧料、入場料等を徴収する場合の使用料の額は、この表に掲げる額にその3割に相当する額を加算した額とする。

（2）設備

区 分	単 位	算定基準	金 額
花粉分析器（セルソーター）	1式	1時間につき	3,670円

備考 使用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算する。

一部改正〔令和元年条例4号〕

別表第3（第7条関係）

区 分	金 額
花粉分析器（セルソーター）を用いた花粉分析	1試料につき 17,820円

一部改正〔令和元年条例4号〕

福井県年縞博物館の管理運営に関する規則（平成30年9月14日福井県規則第43号）

（趣旨）

第1条 この規則は、福井県年縞博物館の設置および管理に関する条例（平成30年福井県条例第6号。以下「条例」という。）第13条の規定に基づき、福井県年縞博物館（以下「年縞博物館」という。）の管理および運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間および入館時間）

第2条 年縞博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、入館時間は、午後4時30分までとする。

2 福井県年縞博物館長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の開館時間および入館時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 年縞博物館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、館長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

（1）12月29日から翌年の1月2日までの日

（2）資料の展示替えまたは整理の期間

（3）施設の点検または清掃の期間

（施設等の使用の承認）

第4条 条例第4条の規定により、年縞博物館の施設または設備（以下「施設等」という。）の使用の承認を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、福井県年縞博物館使用承認申請書（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、条例第4条の規定により承認をしたときは、申請者に対し、福井県年縞博物館使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

（観覧券）

第5条 条例第5条の規定により、観覧料を徴収したときは、個人の観覧料にあつては観覧券を、団体の観覧料にあつては現金領収書を観覧者に交付する。

（共通観覧券により年縞博物館と共通して観覧することができるもの）

第6条 条例別表第1備考第3号の規則で定めるものは、若狭三方縄文博物館とする。

（分析依頼の手続）

第7条 条例第7条の規定により、条例別表第3の上欄に掲げる分析を依頼しようとする者は、分析依頼書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

（観覧料、使用料および手数料の還付）

第8条 条例第8条ただし書の規定により、観覧料、使用料または手数料を還付することができる場合は、次に掲げる場合とする。

（1）災害その他不可抗力により観覧または施設等の使用ができなくなったとき。

（2）その他館長がやむを得ない事由があると認めるとき。

2 観覧料、使用料または手数料の還付を受けようとする者は、福井県年縞博物館観覧料還付申請書（様式第4号）、福井県年縞博物館使用料還付申請書（様式第5号）または福井県年縞博物館手数料還付申請書（様式第6号）を館長に提出しなければならない。

（観覧料、使用料および手数料の免除）

第9条 条例第9条の規定により、観覧料を免除することができる場合およびその場合において免除することができる額は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

（1）県内の小学校、中学校および高等学校その他これらに類する学校（以下「県内の学校」という。）の児童もしくは生徒またはそれらの引率者が教育課程に基づく学習活動または教育活動として観覧する場合 常設展観覧料または特別展観覧料に相当する額

（2）身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）による身体障害者手帳を有する者が観覧する場合 常設展観覧料または特別展観覧料に相当する額

（3）生活保護法（昭和25年法律第144号）による生活扶助または教育扶助を受けている者で関係官公庁の発行した証明書を有するものが観覧する場合 常設展観覧料または特別展観覧料に相当する額

（4）前各号に掲げるもののほか、館長が特別の事由があると認める場合 館長が必要と認める額

2 条例第9条の規定により、使用料を免除することができる場合およびその場合において免除することができる額は、次に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

（1）県、県内の市町または県内の学校が年縞博物館の設置目的に沿った事業に使用する場合 使用料に相当する額

（2）前号に掲げるもののほか、館長が特に必要があると認める場合 館長が必要と認める額

3 条例第9条の規定により、手数料を免除することができる場合およびその場合において免除すること

ができる額は、次に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

(1) 県、県内の市町または県内の学校が年縞博物館の設置目的に沿った事業のために分析する場合 手数料に相当する額

(2) 前号に掲げるもののほか、館長が特に必要があると認める場合 館長が必要と認める額

4 条例第9条の規定により、観覧料、使用料または手数料の免除を受けようとする者（以下「免除申請者」という。）は、福井県年縞博物館観覧料免除申請書（様式第7号）、福井県年縞博物館使用料免除申請書（様式第8号）または福井県年縞博物館手数料免除申請書（様式第9号）を館長に提出しなければならない。

5 館長は、条例第9条の規定による免除の承認をしたときは、免除申請者に対し、福井県年縞博物館観覧料免除承認書（様式第10号）、福井県年縞博物館使用料免除承認書（様式第11号）または福井県年縞博物館手数料免除承認書（様式第12号）を交付するものとする。

(入館者および使用者の賠償義務)

第10条 年縞博物館に入館した者および年縞博物館の施設等を使用する者は、その責めに帰すべき事由により、展示品を汚損し、または年縞博物館の施設等を毀損し、もしくは滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(年縞資料の寄贈および寄託)

第11条 年縞博物館に水月湖の年縞およびこれに関連する資料（以下「年縞資料」という。）を寄贈または寄託しようとする者は、年縞資料寄贈（寄託）申込書（様式第13号）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、年縞資料の寄贈を受けたときは、年縞資料を寄贈した者に対し年縞資料受領書（様式第14号）を、年縞資料の寄託を受けたときは、年縞資料を寄託した者に対し年縞資料受託書（様式第15号）を交付するものとする。

(年縞資料の寄託期間)

第12条 年縞資料の寄託期間は、2年以内とする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(年縞資料の保管の責任)

第13条 寄託を受けた年縞資料について災害その他不可抗力により生じた損失に対しては、年縞博物館は、その責めを負わないものとする。

(年縞資料の貸出し)

第14条 年縞博物館の年縞資料は、館外への貸出しを行わないものとする。ただし、館長が適当と認めた場合は、この限りでない。

2 前項ただし書の規定により、年縞資料の貸出しを受けようとする者（以下「貸出申請者」という。）は、年縞資料貸出申請書（様式第16号）を館長に提出しなければならない。

3 館長は、前項の貸出しを承認したときは、貸出申請者に対し、年縞資料貸出承認書（様式第17号）を交付するものとする。

(その他)

第15条 この規則で定めるもののほか、年縞博物館の管理および運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成30年9月15日から施行する。

附 則（令和3年3月31日規則第24号）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正前のそれぞれの規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（令和4年3月22日規則第20号）

（施行期日）

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正前のそれぞれの規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

様式第1号から様式第17号まで 略

[福井県年縞博物館年報]

第6号

2024年4月1日—2025年3月31日

編集・発行 ————— 福井県年縞博物館

印刷 ————— 有限会社印刷ショップフタバ

発行日 ————— 2026年1月